

# 会 議 録

会議名	令和5（2023）年度みよし市障がい者自立支援協議会第3回全体会
日 時	令和6（2024）年3月21日（木）午前10時から正午まで
場 所	みよし市役所3階 研修室1，2，3
出席者（敬称略）	別紙参照
欠席者（敬称略）	しおみの丘、いきもの語り、えがお、豊田市こども発達センター、医療的ケアさぼーと部会部会長
傍聴の有無	2名

## 発 言 要 旨

### 1 あいさつ

構成員の皆様、大変お忙しいところ御参加いただきありがとうございます。三寒四温と言われながら少しずつ春になる。それと同時に体調には十分気をつけてほしい。

2月23日に協議会主催で「重層的支援を考える」というテーマで講演会を開催した。ターゲットとしていた議員や民生委員を含めて100人以上の方に御参加いただいた。改めて、地域共生社会という言葉が地域の中で認識されていて、関心が高いと感じた。私も地域福祉を行う団体として、気を引締めていかなければいけない。

今日の全体会についても、前半で令和5年度の事業報告、後半で地域生活支援拠点等の整備についての意見交換を行う。構成員の皆様がみよしの障がい福祉の向上を考える自立支援協議会の構成員の一人だという自覚を持って、ご発言をお願いしたい。

今後の取組の強化に繋げていくために活発な議論を展開されることをお願いし、会議冒頭の御挨拶とさせていただきますよろしく申し上げます。（会長）

本日は、業務がお忙しい中、みよし市障がい者自立支援協議会の全体会に御出席いただきありがとうございます。

この全体会では、本市の障がい福祉に関わる関係機関の方々に集まっただき、自立支援協議会の部会の報告等から地域課題を確認するとともに、今後本市が取り組むべきことについて、御協議いただいている。全体会は、年に3回開催することになっていて、今回は今年度最後となる。令和5年度の専門部会の取組の事業報告、地域生活支援拠点等の整備について、皆様と共有し、意見交換をしていきたい。

今年度は、障がい者福祉計画の策定年度となっていて、策定に当たり、自立支援協議会構成員の皆様には、多くの御協力をいただいた。この場をお借りして御礼申し上げます。

自立支援協議会で出された意見については、本市の障がい福祉施策の推進に当たり非常に重要なものと捉えている。今日も、皆様の忌憚のない御意見をお願いしたい。（福祉課長代理 副主幹）

### 2 協議事項 （1）令和5（2023）年度のみよし市障がい者自立支援協議会について

(1-1)運営会議の事業計画について、事務局福祉課立石から説明。

(1-2)人材育成検討チームの事業計画について、事務局『障がい者支援センターたいざん』岡村氏から説明。

(1-3)暮らしの場検討チームの事業計画について、事務局『相談支援事業所わらび』深田氏から説明。

(1-4)地域生活支援拠点検討チームの事業計画について事務局『しおみの丘』秋田氏から説明。

#### 構成員名

#### 意見（質問・回答）等

身体障害者福祉協議会  
前澤氏

地域課題報告書の内容を見ると、何か大変なことが起こっている。また、まだまだ隠れたものがあるのではないかと思う。

<p>精神障がい者家族会 畠中氏</p>	<p>地域課題報告書の件数が約 50 件。自分の困ったことを正直に相談しに来る人がこんなにたくさんいる、本当に困って困ってどうしようもならなくなって相談に来るのだと思う。</p>
<p>泰山寮 近藤氏</p>	<p>人材育成検討チームの担当だけでなく、サポートメンバーにも活躍してもらっていて、3月の研修は、サポートメンバーが主体になって企画を行い、担当がサポートするというような逆の立場で研修を組み立てている。サポートメンバーが研修を企画すると、地域とのつながりを意識し、サポートメンバーの育成にもつながるといふ狙いはよく分かるが、1事業所として考えると、サポートメンバーの職員を出すこと自体が現場職員の配置等にも配慮しなければいけない、入所施設と通所施設の時間の合わせ方もあり、かなりサポートメンバーも頭が混乱したところもあると思う。次年度以降、もう少しサポートメンバーの役割を明確にし、協力体制を求めてもらえれば、それに合わせた形で協力はしていきたいと思う。</p>
<p>みよしはたらく協議会 小西氏</p>	<p>3月5日の研修について、時間が合わず職員を出せなかった。前回、近藤氏から働き方改革について話があったが、私の事業所の場合、勤務時間後の方が職員を出しやすい。内容はとても良い。 また、人材確保について、地域の法人で募集をかけると大体 50 代の人しか来ず、資格要件を入れるとさらに来ない。色々フォローしながらやるが、やはり退職者もいるような状態で、人材の確保はとても厳しい。また、若い人の確保も難しいと感じている。</p>
<p>手をつなぐ親の会 岸野氏</p>	<p>宿泊体験の場所の拡充等は進んできた福祉事業所を利用している者としては感じているが、他市町に行っている人の機会がとても少ないということも耳に入ってきている。今後もそのようなところの拡充をお願いできたらありがたい。</p>
<p>精神障がい者家族会 畠中氏</p>	<p>精神障がいの場合の緊急時は、入院という選択肢がある。</p>
<p>わらび 熊谷氏</p>	<p>不動産会社の人たちは、なかなか想像が付きにくいことが多いと思う。以前研修に岡山県から不動産会社の人に来てもらったことがある。不動産会社の人岡山でやり始めたという例を見て、岡山も進んでいったことはあるため、どのようなことを不動産会社がやれるのか、実際にどのようなことが起こっているのか、具体的に伝えられると良いと思う。また、私たちが進めるよりも同じ不動産会社で伝えてもらえると分かりやすい。</p>
<p>三好特別支援学校 内田氏</p>	<p>マップ作りについて、学校は転勤者も多く、学内でも色々な年齢のお子さんを縦のラインで見ることが多いため、担任支援になる。話し合いをしてつながることは学内でも心がけていることのため、あると大変助かる。</p>
<p>豊田特別支援学校 高木氏</p>	<p>肢体不自由や医療的ケアが必要な児童生徒の活用を考えると、バリアフリーやトイレの問題はどうかと思った。三好池や保田ヶ池の周りについて聞いているが、やはり比較的軽度のお子さんが多いと思う。重度のお子さんになった時に、全部賄うことはなかなか難しいため、どの辺をピンポイントにするか。地域包括支援センターの職員がチームに入っているため、お年寄りも入ってくると思う。本校の子たちが使いやすければ、皆さんが使いやすくなると思う。引き続きやってもらえるとありがたい。</p>
<p>(2)児童部会の事業報告について、事務局『相談支援 OK サポート』堤氏から説明。</p>	

<p>部会長 熊谷氏</p>	<p>年に3回しかない児童部会で確認を取りながらとなると、動きがとりづらかった。アンケートを取り、研修も何でも良いならやれたし、語る場も目的等がしっかり共有されていなくても場を開くだけならできたと思うが、果たしてそれで良いかと思った時に、もう少し丁寧に取り組むことで、実際に合ったものが設置でき、効果が出るものができるのではないかと思う。来年度は、ワーキンググループを設置し、丁寧に時間をかけて進めていきたい。</p>
<p>(3)就労支援部会の事業報告について、事務局『みよし市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所』中村氏から説明。</p>	
<p>部会長 山口氏</p>	<p>就労支援部会では障がいがある方の働くことを考えているが、みよし市には、くらし・はたらく相談センターという情報を集約する場所や就労支援事業という市の委託事業もある。それがしっかりと機能していて、色々な問題が解決できる体制が整っている中で、部会として何ができるか、何が課題かということを作成員からも意見が聞きたくて後半にヒアリングを行った。次年度は、福祉的就労についてワーキンググループを設置し、検討していきたい。</p> <p>また、教育機関でもヒアリングをする中で様々な課題が挙げられていた。教育機関で集まり、共有し、どのような解決方法ができる等話し合う場を作れたら良いと考えている。そのため、今年度の活動は終了とし、新しい取組に進む予定。</p>
<p>(4)精神保健福祉部会の事業報告について、事務局『みよし市社会福祉協議会障がい者相談支援事業所』江川氏、『はたらくサポートセンター』藤城氏から説明。</p>	
<p>部会長 兼重氏</p>	<p>ピアサポートの取組について、体験会で6名参加してくれたことがとても嬉しいことで、ピアサポーターになってくれる人に出会えるかどうか不安があった。参加した人に本当にこれはやりがいがあると思ってもらえていることが今年度の成果と考えている。</p> <p>シエルブルーで毎日ピアサポートの現場を肌身で感じていて、同じように苦しい経験をした人の支え合いという威力はとてもすごいものがある。他の専門職では聞いてもらえた感覚がないが、同じ体験をしている人が聞くと、痛いところに手が届く。そのような話の聞き方ができるのがピアサポーター。</p> <p>ただ、誰もがピアサポーターにすぐなれるかということ、とても難しい。次年度は、ピアサポーターになりたい人がピアサポートをきちんと理解できる学習の機会を考えたい。また、成り手がいなくならないように、ピアサポーターが参加しやすい活動ということで、啓発活動を考えている。ピアサポーターがつながり合うことが社会参加につながる。</p> <p>医療と福祉の連携について、長年言われているが、お互いに連携を必要としているのかどうか、疑問に思う。次年度は、ワーキンググループを設置するため、この機会にどのような連携が必要か話し合いたい。</p>
<p>(5)医療的ケアさぼーと部会の事業報告について、事務局『キッズラバルカ』川北氏から説明。</p>	
<p>OK サポート 堤氏</p>	<p>医療的ケア児等コーディネーターとしてワーキンググループに参加し、学齢期を担当している。来年度小学校に入学する導尿のケアがある子の担当で、年少の頃から進学に向けて学校や学校教育課、訪問看護ステーション、保護者と話し合いを行ってきた。早くから準備することで本人や家族が安心して4月を迎えることができていると実感している。</p> <p>また、ワーキンググループでケース共有をすることで、コーディネーターとし</p>

	ての動き方の助言等をしてもらい、コーディネーターの不安の解消の場にもなっている。
構成員名	意見（質問・回答）等
豊田特別支援学校 高木氏	リレーシートがあると、次のところに繋ぐきっかけにはなると思う。信頼関係の問題等もあり、お子さんが受け入れをするかしないかという問題も出てくるため、実際に引継ぎをした者と保護者との関係づくりから始まる。個別の教育支援計画については、本校でも繋がっていて、その後就労する時には、移行支援計画を配布し、引き継ぎを行っている。シートがあると色々なところで引継ぎが上手くいくと思うが、それだけでは終わらないようにしておく、また、何かあった時にお互いが聞きやすい関係づくりが必要になってくると思う。
三好特別支援学校 内田氏	現在、教員の働き方改革も言われていて、色々な職場で見直しされる時期のため、シートを一つ追加することは少しそぐわないかもしれない。今、現存である教育支援計画や指導計画、移行支援計画の役割をもう一度見直し、リレーシートの要素を含む等、なるべく書類を整理して一つにする。見直しが必要になってくる。
豊田加茂福祉 相談センター 大河内氏	部会では、保育士へのアンケート結果を共有している。児童相談所にいるだけでは保育士が困っていること等なかなか情報が入ってこないため、部会で情報を共有できることはありがたく、勉強にもなる。ただ、情報共有だけで終わってしまう部分が多いため、来年度のワーキンググループで色々なところが始動していくのが楽しみ。
教育委員会 大成氏	特別に支援が必要な家庭が年々増えているのが現状。保護者目線でいうと、この先どのような支援が必要になるのかを保護者もお子さんも含めて情報共有していく場が必要だと感じている。そのような点でも、手をつなぐ親の会の岸野氏主催の保護者の情報交換会も含め、保護者同士が語れる場が必要。しかし、声をかけても、両親とも働いている家庭が増えていることもあり、どのような時期に、どのような目的で、どのような時間帯でやるか、今後調整は必要になる。
豊田公共職業安定所 竹田氏	職場体験先の増加について、今年度の取組の達成度は100%で一度整理して取組は終了となっている。次年度以降、職場体験冊子は、新たに作らず今あるものを配るイメージか。
部会長 山口氏	現時点で更新は考えていない。職場体験冊子を作って配布活動をしたが、その反響が今年度ほとんどなかった。個別訪問時に説明資料として使い、効果が出たというところで、更新はまた意見が出てきた時に検討したい。
豊田公共職業安定所 竹田氏	障がい者雇用率に関して、この4月に民間企業は2.5%、令和8（2026）年7月には2.7%へ引き上げられる。対象事業所も、常時働く従業員の数が2.5%だと40人以上、2.7%だと37.5人以上。障がい者雇用を進める企業は、冊子も参考にし、ハローワークでもアタックしていきたい。障がい者雇用を進めてみようという企業があったら、ハローワークへの導きもお願いしたい。
西三河北部障がい者就業・生活支援センター 西村氏	職場体験先が増加していることは良いこと。国の雇用安定の事業を受けるに当たり職場実習件数が決められていて、それを超えない場合はどうしてかと聞かれることもあるぐらい、職場実習や職場体験は就労にとって大事なこと。私たちにとっても、利用者がどのように働けるか確認できるとともに、企業にとっても、障がいの理解に役立つ経験になる。また、本人も体験することで企業について知



	<p>ることができる。障がい者を実際に働いている場所に受け入れることは、通常業務と違うため大変で、受け入れ企業も少なかったが、今回増えていることが分かったため、障がいについての意識が企業も増えているかと思う。</p>
<p>衣浦東部保健所 西出氏</p>	<p>ピアサポートについて、第一歩が始まり良かったと思うとともに、精神の方は特に不安定になってしまうことがあるため、そのような時にシエルブルー等でしっかり相談ができる体制は大事だと感じる。</p> <p>医療と福祉の連携は本当に大事なことで、精神の方は、不安定な時に医療機関との付き合い方が不安定になることもある。そこを福祉でサポートしたり、逆に福祉の場でも、GH職員やヘルパーが気づき、緊急時に医療に繋ぐことは非常に重要になる。設置するワーキンググループでぜひ話し合いをしてほしい。</p> <p>また、不動産会社へのPRについて、ピアサポーターの有効性を知ってもらうための啓発活動の一環で、不動産会社に障がい者についての理解を持ってもらうという啓発に繋がられるチャンスになると思った。ピアサポーターが普通に生活していることを知ってもらったり、退院する人に支援者が付き添い、困った時は支援者に相談ができるという体制を不動産会社に理解してもらうことで、安心感を得ることはできると感じた。今後とも引き続き一緒に活動したい。</p>
<p>みよし市民病院 阿部氏</p>	<p>災害時に特化したワーキンググループを今後設置するということが、正月に地震が発生し、防災意識も高い中でこの取組を継続してできることは、とても大きな意味合いがあると思う。また、災害時に医療の立場でどのように役に立っているのか、市民病院としても検討しなければいけない。市民病院に課せられる役割を再度見直すためにも、しっかりこのようなことを見直しができると思う。</p>
<p>2 協議事項 (2) 地域生活支援拠点等の整備について</p>	
<p>地域生活支援拠点等の整備について、地域生活支援拠点検討チーム事務局『しおみの丘』秋田氏から説明。</p>	
構成員名	意見（質問・回答）等
<p>副会長 阪田氏 (進行)</p>	<p>地域生活支援拠点は、今度のサービス改定でも前面に出ている項目。内容を見ると、拠点を進めないと障がい者が安心して暮らせないということが分かってくる。自立支援協議会が評価機関になり、見直す役割が重要になる。人それぞれ評価の視点が違うのは当たり前。その違いを共有したい。</p> <p>8項目のうち3項目（体験の場、地域の体制、事業者の意識）が全体会構成員と事務局での差が大きかった。差がある項目について意見交換したい。</p> <p>まずは、体験の場について。みよしは、グループホームが少ないという課題はあるが、体験の場も少ないという印象か。</p>
<p>わらび 熊谷氏</p>	<p>現在利用している法人の利用者以外の方を受け入れているグループホームの体験の場がなく、就労している人が利用できる体験の場もない。</p>
<p>キッズラバルカ 川北氏</p>	<p>例えば、身体障がい者向けのグループホームが市内にはなく、体験する機会もない。身体障がい者でなくても、ひとり暮らしを経験する際の体験の場は、市内にはないと思う。</p>
<p>副会長 阪田氏</p>	<p>障がいといっても本当に幅が広い。特に医療的ケアが必要な方等は、近場に機能があれば良いまちになると思う。そこは課題として認識してもらいたい。</p> <p>次に、地域の体制について。地域づくりも捉え方が幅広く、評価の仕方で違って当たり前。医療と福祉の連携は部会でも出ていたが、医療との連携は課題。また、障がい者福祉計画と地域福祉計画との連動が少し不透明で課題だと評価の総</p>

	<p>評で出している。</p> <p>地域の支援者同士の顔の見える関係はできていると考えているが、計画に反映されているかは、指標もないため評価しにくいと思うが、どうか。</p>
手をつなぐ親の会 岸野氏	<p>指標が不明確なまま地域診断をすること自体が自分の中では難しい。どこまで達成すると良いとか、取組状況の明確なものを出してはいるが、指標もないため評価がしにくい。根本的なものかとか思う。</p>
副会長 阪田氏	<p>指標を精査し、検討する場があって良いかと思う。事務局はどうか。</p>
わらび 深田氏	<p>協議会や人材育成検討チームの研修等に参加しているため、お互いに関係性や顔が見える関係はできているが、障がい者福祉計画に反映されているかどうかについては、評価がしづらいつと感じた。</p>
副会長 阪田氏	<p>指標や評価の基準については、また事務局で検討してほしい。</p> <p>次に、事業所の意識について。この項目は、構成員と事務局の差が1番広かった。やはり、立場によって全く評価が違う。学校としてどうか。</p>
教育委員会 大成氏	<p>情報交換等ができる関係性ができていると思うため、評価は高い。自分の立場で考えると、良い関係づくりができている。教育の関係者からすると、連携をとってやっている事業所同士もあるというイメージ。</p>
わらび 熊谷氏	<p>正直読み取りが難しかった。1人が関連する又は中心的な役割を担う機関の成熟度を図るということであれば、相談支援事業所だと思い、レベル1まではクリアだと思う。レベル2になると、「地域の事業所等」という文言がある。例えば、わらびだけでも生活介護や就労等事業所は多い。そもそもの括りは何か。市内の事業所とする場合、みよし市に色々な事業所ができてありがたいと思うが、その方たちの顔が見えるかということ、コロナの影響もあるかと思うが、正直会っても分からない。</p>
副会長 阪田氏	<p>数年前とは全く違う。事業所の数も倍以上になっているため、そこも含めた評価だと思う。他市町と比較してはどうか。</p>
わらび 熊谷氏	<p>他市町も色々あり、非常に進んでいる市は、放課後等デイサービスだけの集まりもある。市の大きさでも変わる。現状、もう少しお互いが知っていれば円滑にできることは、みよし市ならある。</p>
副会長 阪田氏	<p>例えば、放課後等デイサービス事業所が多いのであれば、事業所同士で共有するような仕掛けをする等工夫があると良いか。</p>
わらび 熊谷氏	<p>今の状況を考えると、放課後等デイサービスの事業所同士では繋がっているかもしれないが、その先の成人の事業所を知っているか。子どもたちは大人になるというライフステージを見た時に、どう捉えるかを一緒に考えていけると良い。</p>
副会長 阪田氏	<p>障がい種別等は関係なく、みよしの地域課題を協議会だけで発信するのではなく、全体に発信するような仕掛けがあるか。ホームページを常にリニューアルして発信する等の仕組みも考えていくと良い。課題がよく分からないということが問題。まずは、ここが課題だと発信する工夫をし、そこから新たに課題をまた拾うと、課題に対して協議する場が生まれやすいと思う。</p>
三好特別支援学校 内田氏	<p>色々な市町のお子さんたちが本校に通っているが、みよし市はすごく良心的にお子さん一人一人の個性を受け入れて育ててくれている印象。これだけ構成員と事務局で差があることは、驚きもありつつ気づきでもある。きっと事務局が目指</p>

	すところが高いのではないかと思う。もっとみよし市を良くしたいという熱意を感じる。私もこの地域の一員ということで、改めて活力をもらった。
副会長 阪田氏	課題を厄介なものだと捉えるのと、課題があるから解決しようという姿勢は違う。みよし市は、課題を何とかしようという気持ちが強い。それは培ってきたチームがある。今の話は本当に励みになり、解決するための方向性よりも姿勢がより問われている時代になっていると改めて感じた。全体では何かあるか。
西三河北部障がい者就業・生活支援センター 西村氏	就労と雇用の立場からの情報提供。事業所意識の項目で放デイの話が出たが、雇用サポートフェアという就労移行支援事業所を知ってもらう取組をハローワーク豊田と共同で行った。豊田管内にみよし市も入り、新たな取組として、放課後等デイサービスの事業所にも全て案内を出した。 就労移行支援事業所は訓練をしてもなかなか賃金が出ず、障がい者が利用しにくいところがあるが、就労移行支援事業所を使うことで企業に対する定着は全く違う。そのため、そこを太くしていきたいということで、今後も放課後等デイサービスに案内を出す。就労に向けて、障がい者雇用の意識向上を図っていきたい。
しおみの丘 秋田氏	構成員と事務局で評価を分けて意見交換をしたことで、色々な視点や気づきがあるということが、構成員にも知ってもらえたかと思う。できれば、自分の所属機関に持ち帰ってもらい、所属機関で話をしてもらうことにより、拠点の情報共有にも繋がると思うため、お願いしたい。

### 3 その他（各機関からの連絡事項）

事務局福祉課から説明。

令和6（2024）年度の全体会の日程について、7月26日（金）、11月22日（金）、3月24日（月）に開催予定。

今年度は障がい者福祉計画の策定年度となり、令和6（2024）年4月からの計画がほとんど完成している。構成機関に配付するため、計画の中身を見てもらい、市の障がい福祉の推進に向けて御協力いただきたい。

相談支援事業について、現在9人分の予算を確保していて、来年度も同様の予算を確保できる見込み。

協議会の体制等について、法人の異動等にもより協議会の事務局を担当する職員も変更する可能性がある。来年度は、変更した体制で臨む可能性もあることを御承知いただきたい。また、第1回全体会は7月になるが、自立支援協議会自体は4月から動き始める。4月の運営会議で年間目標等を確認しながら進める。

会長から説明

障がい者自立支援協議会という名称について、以前から事務局の中で見直しをしても良いのではないかと話題になっている。地域づくりや地域生活拠点等も踏まえ、名称の変更も考えている。来年度1年間かけて検討を進め、また構成員にも御意見を伺いたい。

－閉会－

作成	福祉課	立石 恵莉	R6.3.25
----	-----	-------	---------